

船舶事故等調査報告書

平成23年12月2日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | | |
|------------|--|---|
| 事故等番号 | 2011門第56号 | |
| 事故等種類 | 乗揚 | |
| 発生日時 | 平成23年4月28日 21時20分ごろ | |
| 発生場所 | 大分県大分市大分港 大分港乙津西防波堤灯台から真方位181°400m付近 (概位 北緯33°16.4' 東経131°39.5') | |
| 事故等調査の経過 | 平成23年5月6日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 本船が短期間で出港したため、本船から情報を入手できなかった。 原因関係者から意見聴取を行った。 | |
| 事実情報 | 船種船名、総トン数 貨物船 ^{マヤ} MAYA（カンボジア王国籍）、1,586トン 船舶番号、船舶所有者等 8622440（IMO番号）、BILLION CROWN ENTERPRISES CORP | |
| 乗組員等に関する情報 | 船長（大韓民国籍）、締約国資格受有者承認証 船長（カンボジア王国発給） | |
| 死傷者等 | なし | |
| 損傷 | 球状船首に凹損 | |
| 事故等の経過 | 本船は、船長ほか8人が乗り組み、大分港新日本製鉄成品岸壁に向けて入航中、私設の航路標識を入口の標識と見誤って浅所に接近し、平成23年4月28日21時20分ごろ乙津泊地内の新日本製鉄重油シーバース西側水域の浅所に乗り揚げた。 本船は、レーダーを作動させていたが、船長が船位を確認せずに重油シーバースの西側の水域を航行した。 本船は、満潮を待ってタグボート2隻により引き下ろされて沖に錨泊し、船体、機関等に異常がなかったので通常の航海を続けた。 | |
| 気象・海象 | 気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 2、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の中央期 | |
| その他の事項 | 私設の航路標識は、大分港乙津西防波堤灯台と大分港新日本製鉄重油シーバース灯を結んだ線の間付近に設置された黄色浮標であった。 | |
| 分析 | 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析 | あり なし なし 本船は、大分港乙津泊地内の新日本製鉄成品岸壁に向けて入航中、船長が、船位の確認を行って いなかったことから、重油シーバース西側の水域 を航行し、浅所に乗り揚げたものと考えられる。 |
| 原因 | 本事故は、夜間、本船が、大分港乙津泊地内の新日本製鉄成品岸壁に向けて入航中、船長が、船位の確認を行って いなかったため、重油シーバース西側の水域を航行し、浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。 | |